



第 325 号

2003年(平成15年)

12月10日

発行 明治大学
 編集 明治大学広報部
 TEL 03(3296)4083
 E-mail:
 koho@mics.meiji.ac.jp
 東京都千代田区神田駿
 河台1-1 (〒101-8301)

主な内容紹介

- 留学生日本語スピーチコンテスト……………(2面)
- 就職活動体験報告……………(3面)
- 連合父母会主催「学生交流会」参加報告……………(4面)
- 相談室の窓から……………(5面)
- 春の厚生施設案内……………(6面)
- 大学の散歩道……………(7面)
- 明大ニュース(学長表彰他)……………(8面)



4年振りに復活した新生「明大祭」に続き、生田校舎では、すっかり秋の恒例行事となった第3回生明祭が、「粹」をテーマに11月22日から24日まで開催された。

学園祭では恒例の模擬店をはじめ、学生バンドによるライブ、ミニコンサート、お笑いライブ、演武会、講演会、展示などが行われ、参加したサークル・学生たちの熱意が伝わったものとなった。また、生田ならではの農作物販売、花卉販売も行われ、好評を博した。

開催期間中は、天候にも恵まれて学生のみならず多くの卒業生、家族連れ、近隣住民等で賑わった。

第3回「生明祭」

生田校舎で11月22日～24日に開催



点 早春から初秋まで、あれほど通行人や学生達の目を惹きつけてくれた、リパティタワー前の街路樹もマロニエなどは落葉し、寒風とともに歩道に舞う季節となった。寒気が身に染み師走である▼この1年をふり返ると、文部科学省が今年度から実施した「特色ある大学教育支援プログラム」の応募テーマで全80件の中の1つに選定、2004年4月発足の新学部「情報コミュニケーション学部」の認可、さらに「法科大学院」、公共政策大学院「ガバナンス研究科」、ビジネススクール「グローバル・ビジネス研究科」の認可などなど、本学で、長い期間、懸案のまま持ち越してきた発展計画政策が、一挙に達成された年であった。これらの実現に尽力された関係各位の努力に感謝したい▼一方、学生諸君には、この貴重な1年間を学問・知識の習得、教養や人格の涵養、サークル活動の実践、生涯の友や仲間の獲得など、学びと学生生活の両視点で点検してほしい。その結果の分析に基づいて、有意義な学園生活を送る新たなプランの作成を望みたい▼生涯教育や高度専門職業人養成型大学院の拠点となる「アカデミーコモン」が、今月末に完成する。年が改まると、新植栽と水(噴水)の織り成すペーゼント、偉容をほこる建物の全体像がいっそうはつきりするだろう▼今後の本学飛翔の大きな鍵をにぎる学生諸君の諸活動に心から声援を送るとともに、諸君の一人ひとりが、将来への目標を見定め、自信と向上心を持って積極的に精進する新年を迎えられるよう祈念する。

第8回 明治大学学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト

李 根炷君 (理工1・韓国) が学長賞受賞!!
短大生から大学院生まで
15名の留学生が見事なスピーチ

「第8回明治大学学長杯留学生日本語スピーチコンテスト」が11月15日(土)に開催された。出場した15名は短大1年生から博士後期課程の大学院生までと幅広く、各々が3名の日本語アドバイザーと5ヶ月前から原稿の用意を始め、直前までスピーチ練習を重ねるといって、地道で周到な準備が本番での見事なスピーチとなって聴衆を酔わせた。また、62名の学生ボランティアが、広報活動、プログラム作成、司会、会場作り等の一切を兼務してコンテストを支えた。本号と次号で受賞者5名のスピーチ内容を紹介する。

学長賞

李 根炷 (リ・グンジュ)
理工学部1年・韓国

一言のメッセージ〜主客転倒しないで!〜(抄)

皆さん、主客転倒という言葉を知っていますか?これは何かを始める時の目的を忘れて過程を大事にしたり、その過程のため目的がぼやけたりする、という意味です。私が名古屋で日本語学校に通っていた時、あるお姉さんと知り合いました。お姉さんは「私はね、国でもう日本語学科の大学を卒業したの。ここで大学院に進学して、日本語をもっと深く勉強したいの」と言っていたので、すごい人だなと思いました。互いに助け合いながら、一生懸命頑張って半年が過ぎました。しかし、ある日を境にお姉さんは学校を休みがちになり、久しぶりに来ても寝てばかり、ついには学校から追い出され、私はそれっきりでした。

今年の夏休み、私は5ヶ月前に名古屋を訪れ、行きつけの居酒屋でもう会えないかと思っていたお姉さんに出会って、嬉しさのあまり涙がこみ上げてきました。「私、もう不法滞在者になったの。ここでずっとアルバイトしているんだけど、お前は勉強だけ頑張っ

実は初めて日本に来た時、私もお金を稼ぐために何ヶ月かアルバイトした経験があります。しかしやはり行き詰まり、それと同時に来日した目的も段々薄れていきました。「そうだ、これは違う」。真剣に考えた末に父に電話をかけたところ、父の答えは意外に簡単なものでした。「勉強には時期がある。勉強するのが今のお前の本当の親孝行なんだ」。これを聞いて私は何



初田学長杯日本語スピーチコンテスト授賞式の様子

て幸せなんだろうと思いました。それからアルバイトをやめ、日本語と受験勉強に力を注いだのです。あの時、お姉さんが話してくれた「主客転倒にならないで是非自分の夢を実現してね」という一言を今もう一度思い返しています。

国際交流セン ター所長賞

毛 乃純 (モウ・ノジュン)
法学部3年・中国人民大学交換留学生

お酒の文化 (抄)

お酒は心と体の疲れを癒し、潤滑油として人間関係を円滑にするという役割を持っていますから、日本人と中国人、特に男性は皆お酒が好きです。そして、両国は長いお酒の歴史を持っています。

ところで、先ず日本に来てすぐの懇親会でちょっとおかしいと思っ

たことは皆で「乾杯を言って、私

は一気に飲みましたが、周りの先

生と学生は少しだけ、それからの

飲み会でも、日本人は同じように

少しか飲まないことでした。しかし、中国の場合は乾杯と言っ



毛乃純君のスピーチの様子

たかを判断する場合、少し飲んだら顔がすぐ赤くなる人とえくぼが

さで、中国ではお酒に強いかど

うかを判断する場合、少し飲んだ

ら顔がすぐ赤くなる人とえくぼが

さで、中国ではお酒に強いかど

うかを判断する場合、少し飲んだ

敬意などの気持ちを表す言葉です。一度に限らず何度でも相手に言っているのです。その他に、中国では乾杯する時に、もう一つの細かい礼儀として、相手に感謝や敬意を表すために、乾杯の瞬間は自分のコップを相手より低くするので、これはたぶん日本にはないマナーでしょう。

まだまだ日本語の実力が足りないのに、賞を受けることになって、とても恐縮します。まず、今まで私を手伝ってくれたアドバイザーの町田さん、会田さん、中里さんが自分の事のように一生懸命に協力してくれたことにも感謝しました。賞を頂いたことも嬉しいですが、私が一番大切だと思ったのは、やはり新しい友だちが出来たことと、これをきっかけにもっと日本語の実力を身につけたということです。最後に、このスピーチ大会のため、見えないところで頑張ってくださった皆さん、どうもありがとうございます。

ある人はお酒が強いと言われてい

ます。中国語でえくぼとは「お酒

の凹」という意味ですから、それ

がある人は強いという訳です。皆

さんはそんな判断基準を信じます

か?実は私もそのとおりなのです。

時代の発展につれて、日常生活に

なくてはならないお酒ですが、飲

みすぎにはくれぐれも注意してい

スピーチコンテストを日本語アド

バイザー、開催準備、運営などで

支えた学生コーディネーターの皆

さん

植草めぐ美(法4)、大久保舞(法

4)、島崎悟郎(法4)、近江真梨

奈(法4)、青木隆介(商4)、多

田尋一(商4)、高橋明徳(経営4)、

箱田瑞樹(経営4)、友森美沙子

(文4)、三根由理子(文4)、会田

雄次(文4)、中里卓夫(理工4)、

町田久(理工4)、渡部貴志(理工

4)、及川舞(法3)、金澤新(法3)、

林加代子(法3)、三國直明(法3)、

山崎千資(法3)、岩崎智子(政経

3)、栗又悠佳(政経3)、迫田悠

香(政経3)、白井一生(政経3)、

竹沢祥一(政経3)、堤理沙(政経

3)、藤井一徳(政経3)、リード・

クリスティン・香(オレゴン大交

換留学生・政経3)、大田知希(商

3)、林達哉(商3)、岡野有希(文

3)、菊次理恵子(文3)、高橋充

(文3)、鳥本奈緒美(文3)、森田

慶一郎(文3)、吹上千裕(農3)、

荒井悦子(法2)、原田さとみ(法

2)、市村昌恵(政経2)、上野雅

美(政経2)、片瀬康義(政経2)、

佐藤明子(商2)、平野博文(商2)、

和泉直樹(文2)、石川葵(文2)、

溝口えり(文2)、山口裕子(文2)、

喜多望(短大2)、姚磊(理工2)、

原浩太(農2)、檜山詠美(農2)、

田中俊輔(法1)、後藤悠哉(政経

1)、種田学(政経1)、中道秀樹

(政経1)、真栄田涼子(政経1年)

・吉村直人(政経1)、工藤隆文

(商1)、石関裕(経営1)、小島洋

美(商1)、品川真澄(商1)、小森

真由(文1)、八代京子(文1)以

上62名

就職活動体験報告

後輩に贈る私からのメッセージ

今年度、厳しい就職戦線乗り切った明大生が、就職活動にどのような対策で臨み、何を考え、どう取り組んだのか。4年生2名から貴重なメッセージを寄せてもらった。

就活のススメ

日本航空(株)パイロット職内定
政治経済学部4年 小松崎 寿

目君の道を歩んでいました。そして一浪してようやく明治の二部に入りました。しかし、お金がないのでバイトの日々。サークルにも入る暇がなく、いわゆる学生らしいキャンパスライフを送ることはできませんでした。そのため就職活動を前もって「こんな自分を採ってくれるのかな？」と、不安は人一倍でした。



皆さんこんにちは、本格的に始まる就職活動を前に期待と不安でいっぱいでしょうか。もちろん私もそうでした。私は高校生のころパイロットになりたいと思い、それをきっかけに大学受験を目指すようになりました。それまではまったく勉強もせず、いたって不真面目な人間性であることが分

朝の来ない夜はない!

キャノン(株)内定
政治経済学部4年 長谷川侑子



はありませんでした。今、不安な気持ちを持ちながら活動されている後輩の皆さんに、何か特別なものを持っていただけなくてもいい私の体験が、少しでも参考になればと思います。紹介させていただきます。

就職活動中、常に心に留めていた信念、それは、「自分軸を信じて行動すること」と「納得がいくまで行動」の二点です。この信念の下に活動し続け、希望の企業から内定をいただけた私の就職活動は、決して華々しいといえるようなもので

私の就職活動は、あらゆる業界のセミナーや会社説明会に行ってみることに始まりました。同じように就職活動を行っている仲間には、幼い頃から憧れた職業に就きたいと努力を続ける人や、大きな夢を持っていてそれに向けて突

進む人など、「やりたいこと」を持っていく人も多くいました。その一方で、自分の夢や望む将来像って何だろう、と悩んでいた私が始められることは、それしかなかったのです。しかし遠回りをしていくような焦りを感じていたこの時期も、後になって大変貴重なものとなりました。今まで知らなかった世界に触れる機会となり自分の視野が広がり、社会に出てたくましく働く先輩や、魅力的な方と出会う機会となりました。それと同時に、自分の進みたい方向が徐々に見えてきたのです。

私はパイロット以外にも不動産業界を志望していました。ここでも私がPRしたのは人間的なものです。反面、不動産に関する専門知識など持っていなかったため、大丈夫かなと思っていました。このころ、ようやく気づいたことは、企業が我々新卒に何を求めているかと言うことでした。私が思うには「仕事をいかに学び、将来応用していけるか。どれだけ社会人としての人間性を発揮できるか」と

最後のなりますがアドバイスを1つ。試験に臨む前はちょっと一服しましょう。近くにドトールがあれば缶コーヒーも可。「自分が入社したい会社を前に一服」とも気持ちのいいものです。これで気分もリラックス合格するかどうかあいの必勝テクニックです。

こんな私の話が参考になるとは思いませんが、これからたくさんの方の話を聞くことがあるかと思えます。でもあまり鵝呑みにせず、いいとこどりを心がけて聞いてください。では就職活動、頑張りすぎることなく適度に頑張ってください。

き進む人など、「やりたいこと」を持っていく人も多くいました。その一方で、自分の夢や望む将来像って何だろう、と悩んでいた私が始められることは、それしかなかったのです。しかし遠回りをしていくような焦りを感じていたこの時期も、後になって大変貴重なものとなりました。今まで知らなかった世界に触れる機会となり自分の視野が広がり、社会に出てたくましく働く先輩や、魅力的な方と出会う機会となりました。それと同時に、自分の進みたい方向が徐々に見えてきたのです。

最後のなりますがアドバイスを1つ。試験に臨む前はちょっと一服しましょう。近くにドトールがあれば缶コーヒーも可。「自分が入社したい会社を前に一服」とも気持ちのいいものです。これで気分もリラックス合格するかどうかあいの必勝テクニックです。

こんな私の話が参考になるとは思いませんが、これからたくさんの方の話を聞くことがあるかと思えます。でもあまり鵝呑みにせず、いいとこどりを心がけて聞いてください。では就職活動、頑張りすぎることなく適度に頑張ってください。

最後のなりますがアドバイスを1つ。試験に臨む前はちょっと一服しましょう。近くにドトールがあれば缶コーヒーも可。「自分が入社したい会社を前に一服」とも気持ちのいいものです。これで気分もリラックス合格するかどうかあいの必勝テクニックです。

真柄浩・文学部教授(審査員) 講評

発表には民族衣装あり、手作りパネルあり、ビデオ・テープを盛り込んだ参加もあった。身振り手振り、そして豊かな表情で語られる異文化体験が微笑ましかった。会場の雰囲気も華やか、運営もパワーアップ。発表者とアドバイザーとの交流が、コンテンツの後もずっと続いているのもうれしい限り。その裏で入賞を決める審査員だけが悩ましい。次回は会場で会いましょう。

出場者テーマ

☆毛 乃純(モウ・ノジュン、中国人民大学交換留学生、法3)

☆蔡 元姫(チヤイ・ウエンチ、中国、政経1)

☆李 可薇(リ・カミ、中国、理工1)

☆金 鍾旻(キム・ジョンミン、韓国、法2)

☆崔 雪花(サイ・セツカ、中国、短大1)

☆李 根柱(リ・グンジュ、韓国、理工1)

☆沈 瓊(スン・ジョン、中国、政経研博士前期課程2)

☆金 裕珍(キム・ユジン、韓国、経営3)

☆徐 峻燻(ソ・ジュンヨウ、韓国、文1)

☆曾 永福(ソウ・エイフク、中国、経営1)

☆肖 鶴(シヨウ・カク、中国、経営研博士後期課程1)

☆劉 曉莉(リュウ・シヨウリ、中国、商1)

☆李 春志(リ・ハルシ、中国、政経1)

☆バートン・センターンバット(ラオス、理工3)

「私の夢はラオスの未来を開いていきたい」

「韓国人はキムチばかり食べてね!」(テープ出場のため審査外)

「ブランド品から見た日本」

「私は「力士」になりたい」《連合父母会会長賞》

「私の恋物語」

「原点は変わらない」

「私の夢はラオスの未来を開いていきたい」

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

「納得がいくまで行動」し、私はとをしようと語る時に、暗い顔で最後に自分の個性を認めてくれる00%の力を注ぎ、そして笑顔で最後に面接の際のとおきの忘れずに就職活動に挑んでいって

明治大学連合父母会主催

学生交流会に参加して

政治経済学部2年・小笠原 翔大



10月18日に行われた東海地区学生交流会に続き、11月15日(土)駿河台校舎大会館・リパティータワー岸本ホールにおいて、北海道・東北地区出身の学生を対象とした学生交流会が開かれました。この交流会には北海道・東北地区出身の学生257名と大学・父母会役員91名、あわせて過去最高の348名が参加されました。

第一部では明治大学出身の俳優で現在、明治大学法学部特別招聘教授をされている原田大二郎氏をお招きし、「明治大学の血はさわく」という題で講演が行われました。それは原田氏のユーモアあふれる人柄から笑いの絶えないものとなりました。原田氏は学生時代の話などをまじえ、主に人間の人生観について触れて参加した学生にむかって熱く語られました。原田氏は「そのような善悪の判断をする基準を学ぶためには、いろいろな物事に触れ、そして考えることをしなければなりません。そのためには、いろいろな物事を感じるアンテナを絶えず広げ接せるよう努力をしなければなりません。」と私たち後輩にエールをくださり、講演は終演となりました。

第二部は場所をリパティータワーの岸本ホールに変え、懇親会が和やかに開かれました。懇親会では第一部とは違い学生が主流となつて行われ、普段でも同郷のものとかえない地方の学生にとっては、懐かしくとも有意義なものでした。私にとっても同郷出身で同じ明治大学の学生と知り合うことができうれしく思っています。来年度もこのような交流会が行われ更なる深いつながりを持つてくることを期待しています。

新生「明大祭」を終えて

11月1日、4年ぶりの全学祭である明大祭がスタートした。

開幕セレモニーで私は、千人は超えようかという群衆に圧倒されると同時に「みんな学園祭を待っていたのだ」と興奮を覚え、足が震えました。

公認サークルから約150名の有志が集い、実行委員会として発足したのが6月下旬。運営



組織の原型もノウハウも無い復活1回目の大イベントを準備するに遅すぎる発足でした。何から手をつければ良いか確信の持てない状況でしたが、生明祭実行委員会や他大学の学園祭実行委員会の協力を仰ぎながら、私たちは試行錯誤を繰り返して準備を重ねました。委員会内、大学側との打ち合わせのなかで学園祭は明大にとって本当に必要なものなのかを何度も問い直しました。学園祭とは日頃の研究活動・課外活動の発表の場であり、そして学生・教職員・校友・地域・受験生など、明治に関わる全ての人々が交流し、明治の

「絆」を再認識し、深められる場ではなくてはならないと捉えました。学園祭というイベントを乗り越えることによって得られる実体験は、「個」を確立し、「他」と関わり、「絆」を結ぶ良い機会です。集団が議論を重ねて、時には個と個が衝突し合いながら、一つの目標を設定し、それに向かって行動し、乗り切り、打ち上げを迎える。こういったことが連帯感を深め、個と個の間に「絆」を生み結束を強めるのです。

旧駿台祭・和泉祭の状況を鑑み、今回は飲酒について規制しました。禁酒でも盛り上がり欠けるといふことはなく、むしろ健全な運営ができたという印象です。学生は、規制せざるをえなかった経緯を自覚し、次回以降飲酒が認められても秩序ある学園祭を心がけてくなくてはならないと思います。今回の明大祭運営を通して、明大生のパワー、バイタリティを強く感じました。準備から当日まで走り回ってくれた実行委員一人ひとりはもちろん、失敗を恐れず参加してくれた各団体には感謝しています。明大祭成功の大部分は参加団体にかかっています。新生「明大祭」が回る重なる毎に諸問題を解決し、明大を代表する大きなイベントに成長していけるよう、今年の経験の後輩たちにしつかり引き継ぎたいと思います。第119回明大祭実行委員会 委員長・高橋昂一(商学部4年)

サークル紹介「BUMPS」

12月の北海道ニセコ、とめどなく降り続く雪。スキー場の一番上のリフトを降り、スキー板を担ぐ。目指すはピーク。羊蹄山を横目に、真っ白の息を吐きながら、ただひたすら登る。極寒の北海道で、真夏のような汗が流れ落ちていく。巡礼者のように登ること30分、山は僕らに最高のもてなしをしてくれる。眼下に広がる北海道の雄大な自然と膝上確実のディーパウダー。山の神に感謝しつつ、冷凍みかんで仲間と乾杯する。

そしてShowが始まる……アイエイイイイイイ!!ノートラック、ノートラックのパウダーに自

己表現を求め、キッカーと呼ばれらる巨大ジャンプ台をサポーターの視線を集めるために飛ぶ。そして鉄のレールの上を滑り、股間をつぶしかけたりする。フリースタイルスキーは、痛い目も見るけど目立って楽しいファンキーなスキーである。



楽しい仲間たち



シンポジウム

『これからの明治はどんなべきか』

11月28日(金)午後、明治大学駿河台校舎リパティホールでシンポジウム「これからの明治はどうあるべきか」(明治大学フロンティア研究会主催・明治大学法学部協賛)が開催された。



明治への熱き思いを語る学生・教員・OB

パネリストに納谷廣美(法学部教授)、間宮勇(法学部助教授)、江藤英樹(法学部専任講師)、由井武夫(元法学部教授)、小室晃(経営学部OB、日本IBM株式会社)、高野準(法学部4年)、森山敦(法学部4年)、宮下次郎(法学部3年)を迎え、司会を大須賀春陽(法学部4年)が務めた。

まず、高野準からシンポジウムを開催するに至った経緯、現在の教員・職員・学生に対する「このままでいいのか」といった疑問、

現代における大学の役割とは何なのかという問題が提起され、シンポジウムが開催された。

教授、OB、企業、学生、それぞれの立場から施設・システムは揃っていても活用せず、均一化されない学生への問いかけ、反対に学生からの授業への不満、教育バリアフリーともいえるべき学生と大学側の間に存在する壁、昔の学生と現代の学生の違い等が指摘され、これからの明治大学には何が必要なのか、具体的にどうしていけばよいか、教授・学生が同じ舞台に立ち、話し合われたことは初めての試みであった。

明大生が、明治大学に対する思い、将来を語った、「拙作『7人の明大生』も上映された。

後半では、質は上がったが、「いい子」になってしまった現代の学生が何を考え、どうしたいのか、学生側からも行動を起こすことこそ重要なのではないか、また、大学側も研究成果を還元していく、教授に対しての評価制度を導入し、教え方の研究もしていくということが示され、納谷教授から、今後このような学生・教員・職員が話し合う場が必要不可欠であると提起された。

最後に、明治高等学校・中学校の応援団が壇上で校歌を斉唱してシンポジウムは閉会した。

(法学部助教授 サズネ・シエマン)

「3回目の成人式」に集まりませんか?という手紙が届いたのは少し前のことである。

差出人もすぐには思い出せなかった。私は過去の思い出に浸るのあまり好きでないの、同級会のたぐいは出たことがなかった。だがよく考えてみると4回目の成人式はどうだろうか?

皆白髪で、杖や車椅子で集まるかもしれない。今ならお互い

年をとったと言っても、まだ面影もあるだろう。そう思い直して出席することにした。

このキャッチフレーズにクラス半数が集まった。このとき不思議な現象に出会った。高校卒業後40年もたっていて同級生にどんな人がいたのかも忘れていた。従っ

だったんだ」と、感動にも似た気持ちになった。そこにはまだ見ぬ未来を夢見る乙女の姿と、見終わった元乙女の姿が混在する不思議な時間があった。また、人間の記憶装置の不思議さにも驚いた。確かに卒業の時点で記憶は途切れているのだから、思い出すのは高校生

この経験から、「私の人生は収束に向かってるのだ」と実感させられた。それにひきかえ、相談室に来る学生さんの年齢は20歳前後である。彼らはこれから見る夢のスタートラインにいらるのである。

人生を大海原に例えれば、ここから漕ぎ出した船を、自分で舵を取り、自分で大海原を乗り越えて行かなければならない若者達なのである。船着き場である大学では、出航のための準備と、それを乗り越えるための底力を身につけて欲しいと思っ

相談室の窓から

松本節子
(相談員・理工学部教授)

て会って顔を見てもその時は全く知らない人に出会ったような感じであった。そのうちぼつぼつと彼女らの高校時代の姿が頭の中に現れてきた。それでも思い出せない人がいた。

ところが3日も立ってから、突然高校生姿の彼女が目の前に現れたのだ。「そっ、あの人はこの人

最近つくづく思うこと

の姿であるのは当たり前である。しかし、その姿の記憶がどこに仕舞われていたのだろうか。40年という歳月の中で、様々な経験を経て、そのほとんどの記憶を「上書き保存」してきたように思っていた。

親の若いときの顔が思い出せないのはその証拠でもある。人間の脳の仕組みの凄さに改めて感心した。

そして学生相談室もそのための手助けをしたいと考えている。相談員の一人として、人生の先輩として舵取りのノウハウを少しでも伝授できれば幸いである。

江戸開府400年 お江戸くんエピソード1 「大学対抗イベントinおちよだ」 燃えよ、学生魂!

私の所属している水野勝之ゼミが8月末、それから急いで各大学に呼びかけを行い、運営委員を募集しました。今回のイベントを学生対抗イベント「お江戸くんエピソード1」と命名し、運営委員合計22名(区内11大学の学生)で当日まで突っ走りしました。苦しい時、明大の皆さん(広報部、企画課、学生課、学部事務室、先生、学生)が助けてくれました。協賛企業が見つからず困った時、明大OBの関根宏一社長の関根床用銅板株式会社(浦安市)が直ちに協賛くださいました。明大関係者のおかげで無事当日を迎えられたのです。

途中、委員同士で意見がぶつかり、苦労も多かったのですが、来場者のアンケートで「ぜひ来年も大学生イベント続けてください」とても楽しかったです」等の激励のコメントを見た時、今までの疲れが一気に吹き飛び、胸が一杯になりました。

このような素晴らしい機会を与えてくださった千代田区の方々はもとより、明治大学をはじめとする区内11大学の方々、運営委員、当日スタッフ、出演者、観客の皆さんの力で、このイベントは作り上げられました。まさに、「官・民・学」が一体となって行ったということを直接肌で感じました。

今後この学生対抗イベントが千代田区と区内11大学との恒例の事業になるよう、今回の反省を踏まえ研究を続けたいと思っています。

ちよだ・大学対抗イベント運営委員会委員長・藤岡佐和(商学部3年)



この企画は日比谷公会堂でのイベント(11月23日)として一気に実現の方向に向いました。

しかし、この企画が決まったの内11大学との公式な連携事業と位置づけてくれたのです。千代田区、明治大学のバックアップを受け、この企画は日比谷公会堂でのイベント(11月23日)として一気に実現の方向に向いました。

春 うららら... Let's GO !! 厚生施設

学生事務部

<p>清里セミナーハウス 山梨県北巨摩郡高根町／収容人数(100名) 豊かな自然環境に恵まれた清里の森に隣接する、本学最大規模の厚生施設。勉強に疲れたあとで雪景色を眺めながら入るお風呂は最高！</p>	<p>山中セミナーハウス 山梨県南都留郡山中湖村／収容人数(100名) 山中湖のほとりの唐松林に囲まれた、閑静な立地のセミナーハウスです。観光名所や美術館も合宿のオプションに盛り込んでお楽しみ。</p>
<p>桧原湖セミナーハウス 福島県耶麻郡北塩原村／収容人数(64名) 体育館、研修室も完備。氷の張った桧原湖では、なんと名物ワカサギ釣りが楽しめる！寒くなったら自慢の温泉につかっての～んびり、リラックス。</p>	<p>富士吉田寮 山梨県富士吉田市／収容人数(36名) グラウンドで雪上サッカーもよし、足を延ばして富士急ハイランドのスケートリンクで滑りまくるもよし。寮までの道のりは、真っ白で美しい日本一の富士山を眺めながらどうぞ。</p>
<p>誉田寮 千葉県千葉市／収容人数(54名) テニスコート6面、サッカー場1面、野球場1面、バレーコート1面と、スポーツ施設が充実しています。思いっきり動いて寒さを吹き飛ばそう！</p>	<p>富岡町合宿センター(契約施設) 福島県双葉郡富岡町 各種スポーツ施設がそろっています。ログハウス風の建物がとってもいい味出しています。懐かしいような温かいような雰囲気、行けばきっと満足です。</p>

<http://www.meiji.ac.jp/campus> ホームページでも情報ゲット！ <http://www.meiji.ac.jp/campus> ホームページでも情報ゲット！ <http://www.meiji.ac.jp/campus>

<p>《抽選申込》</p> <p>1. 抽選対象期間 2月1日(日)～4月7日(水) 宿泊分まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 上記期間の利用は抽選となります。 ※ 利用可能日は、各厚生施設によって異なります。各地区学生課窓口にお問い合わせください。 <p>2. 抽選受付：各地区学生課窓口にて提出してください。 1月13日(火)・14日(水)の2日間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 申込書は各地区学生課窓口で配付します。 <p>3. 抽選結果発表：各地区学生課窓口にて 1月21日(水)13:00～</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 申込書(学生控)と学生証を持参のこと。 ※ 落選団体は1月21日(水)14:00以降、空室がある場合に先着順で申込を受付けます。 <p>4. 本申込：当選した団体の代表は、申込書(学生控)と学生証を持参し、1月22日(木)までに本申込をしてください。</p> <p>5. 抽選に参加しなかった団体の申込は1月23日(金)から受付されます。</p>	<p>《申込上の注意》</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 電話やメールでの申込・問合せには応じません。 ※ 抽選後、空室がある場合は利用する10日前まで受付けます。 ※ 申込は1団体につき1件とします。重複・虚偽の申込みをした場合は無効とします。 <p>《利用料金表(本学学生)》</p> <p>(1) 本学施設 (1泊2食付 税込)</p> <table border="1" data-bbox="810 1081 1453 1305"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>宿泊料金＝食事料金＋利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清里セミナーハウス</td> <td>2,905円＝2,205円＋700円</td> </tr> <tr> <td>山中セミナーハウス</td> <td>2,605円＝2,205円＋400円</td> </tr> <tr> <td>桧原湖セミナーハウス</td> <td>2,555円＝2,205円＋200円＋入湯税150円</td> </tr> <tr> <td>富士吉田寮・誉田寮</td> <td>2,100円＝2,100円＋0円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 契約施設</p> <p>富岡町合宿センター 2,200円 (1泊2食付 税込)</p>	施設名	宿泊料金＝食事料金＋利用料金	清里セミナーハウス	2,905円＝2,205円＋700円	山中セミナーハウス	2,605円＝2,205円＋400円	桧原湖セミナーハウス	2,555円＝2,205円＋200円＋入湯税150円	富士吉田寮・誉田寮	2,100円＝2,100円＋0円
施設名	宿泊料金＝食事料金＋利用料金										
清里セミナーハウス	2,905円＝2,205円＋700円										
山中セミナーハウス	2,605円＝2,205円＋400円										
桧原湖セミナーハウス	2,555円＝2,205円＋200円＋入湯税150円										
富士吉田寮・誉田寮	2,100円＝2,100円＋0円										

演奏会・公演だより

明治大学混声合唱団さわらびコール第39回定期演奏会
 ▼日時＝12月12日(金) 18時15分開演
 ▼会場＝杉並区セシオン杉並ホール(地下鉄営団丸ノ内線東高円寺駅下車徒歩5分)
 ▼入場料＝無料(全席自由)
 ▼曲目＝「混声合唱による日本民謡集」「現代ゴスペル風アレンジによるオムニバス」「混声合唱組曲『方舟』」
 ▼問い合わせ＝090-6143-1802(勝又)


明治大学混声合唱団第52回定期演奏会
 ▼日時＝12月14日(日) 17時30分開場、18時開演
 ▼会場＝東京厚生年金会館大ホール(地下鉄都営新宿線新宿三丁目駅下車徒歩5分)
 ▼入場料＝全席自由1000円
 ▼曲目＝フォスター合唱曲集、オペラ合唱曲集、プッチーニ作曲Messa di Gloria

騒動舎第125回公演ミック・ジャガー村(仮)
 ▼日時＝12月19日(金) 19時開演、12月20日(土) 14時・19時開演、12月21日(日) 14時・18時開演
 ▼会場＝スタジオはるか(JR阿佐ヶ谷駅下車徒歩6分)
 ▼入場料＝前売り500円、当日1000円
 ▼問い合わせ＝090-6434-6487(向山)

明治大学商学部編「これが商学部！」
 (同文館、A5版 224頁、定価1,300円) 12月中旬刊行予定

商学部は、創設100周年記念事業の一環として、以下のような今までに類を見ないヴィジュアルでユニークな本を近く刊行します。執筆陣は商学部の気鋭の若手教員。受験生のみならず、学部生をも広く対象とした絶対に面白い「最新・商学部入門」「事前学習ガイド」です。ご期待ください。

これが商学部



1 限目 「国際人として、移動を通して商学を語ろう」
 2 限目 「売れる広告／売れない広告」
 3 限目 「『株主』になるってどういうこと？」
 4 限目 「世界を相手にどんな仕事する？」
 5 限目 「会計がわかれば世間がわかる」
 6 限目 「世界が注目するドイツの車の魅力とは？」
 7 限目 「めざせ起業家！」
 8 限目 「頭脳派ディフェンダーになろうー保険とリスクマネジメントの話ー」

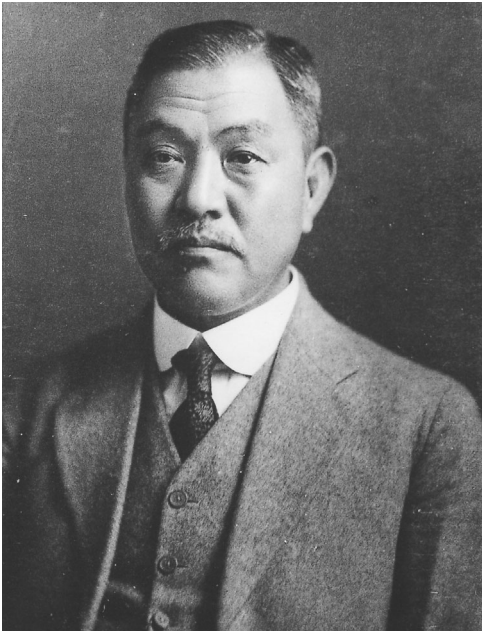
課外授業1：あるゼミの1年間
 課外授業2：社会のなかの「自分」を見つめ直すージョブ・インターンシップー
 (文責：商学部教授・横井勝彦)

大学史の散歩道



大学史資料センター委員

秋谷 紀男 (政治経済学部教授)



小林丑三郎 (大学史資料センター事務室提供)

明治大学と小林丑三郎

二〇〇四年、商学部と政治経済学部では学部創立百周年を迎える。学部と政治経済学部では学部創立までの経緯において違いがあるが、両学部で学部長を務めた人物

として小林丑三郎がいる。小林は一九二〇年の大学令による商学部創立時に商学部長に、一九二五年の政治経済学部独立時には初代政治経済学部学部長に就任する。両学部の極めて重要な時期に小林が学部長に起用されたのは如何なる理由によるものだろうか。

小林と明治大学との関連は早く、法制局参事官時代の一九九九(明治三二)から明治法律学校の兼任講師として経済学、財政学を担当していた。その後、小林は一九〇七年から一九一〇年まで台湾総督府財務局長を務めるなど官僚としての経歴を重ねる。この間、欧米各国にも派遣され、研究者として

の基盤も着々と築いていく。とくにドイツ留学ではドイツ経済学・財政学を撰取するとともに、自己の財政学の体系化にも取り組んだ(持田信樹「日本の財政学」)。

小林は『地方財政学』(一九一一年)を著した後、一九一二年から政治経済科教頭に就任し、一九一四年までに『財政整理論』、『経済学評論』など六冊の著書を次々と発表する。なかでも、『地方財政学』は外国文献の翻訳でしか学ぶことができなかった地方財政論を、豊富な統計資料に基づいて体系的に分析した著書として高く評価されている(佐藤進「地方財政の名著」)。小林は大正初期までにドイツ財政学を基礎としながらも、単なるドイツ財政学を受容と紹介に留まらず、独自の財政学理論を構築したのである。

小林は『地方財政学』(一九一一年)を著した後、一九一二年から政治経済科教頭に就任し、一九一四年までに『財政整理論』、『経済学評論』など六冊の著書を次々と発表する。なかでも、『地方財政学』は外国文献の翻訳でしか学ぶことができなかった地方財政論を、豊富な統計資料に基づいて体系的に分析した著書として高く評価されている(佐藤進「地方財政の名著」)。小林は大正初期までにドイツ財政学を基礎としながらも、単なるドイツ財政学を受容と紹介に留まらず、独自の財政学理論を構築したのである。

会計歳出額は六億四八二〇万円に膨張していた。なかでも軍事費、公債費、植民地経営費、社会政策費、産業助長費の五大費目が増加し、とくに軍事費と公債費が圧倒的な比重を占めていた。小林は非募債主義をとる政府に対して、「日本は国際上の地位、満蒙の新利権の利用、南洋拓殖発展のために対外費用がかかり、国内でも欧州製品との競争のために工業規模を拡大しなければならぬ。殊に軍備拡充・拡張と相俟って軍需工業の普及奨励を図らなければならない。また、米価および蚕糸の恐慌に対して永久的根本的な救済方法を設ける必要がある、その費用は少なくない」と主張した。さらに、自己の公債に対する理論を述べた上で、具体的な財政数値と外国の税制等を事例にあけて「非募債ノ計画ヲ定メラレテ宣言ガ出来ルナラバ、ナゼ増税ニ付テ非増税ト云フコトノ宣言ガ出来ヌ」のか、と政府に対して鋭く迫ったのである。

小林の質問に対して、若槻礼次郎大蔵大臣は「帝国経済ノ状況ニ鑑ミ公債募集ニ依リ財政計画ヲ立ツルコトヲ以テ不利益ナリと認めメ当分ノ間内外市場ニ向テ新ニ公債ヲ募集セサルコト、セリ今後国力ノ発展ニ伴ヒ必要ナル準備ニ対シテハ努メテ公債ノ膨張ヲ抑制スルト同時ニ鞏固ナル産業ノ発達ヲ奨

励シ国力ノ増進ト相俟テ時運ニ応スルノ方法ニ出テテコントヲ期ス」との答弁を後日書面にて出している。しかし、第一次世界大戦中から戦後にかけて軍備の充実、鉄道

の建設・改良、電信電話の整備などにより財政は膨張を続け、非募債主義は中止され、寺内内閣になると国債発行額は年々増加し続けた。また、一九一八年度には所得

税、酒税が増徴される。小林の増税に対する危惧はまさに的中したのである。

小林の議員生活は僅か二年で終了し、一九一七年には海外駐劄官として中国に赴任する。帰国後、小林は大学令によって大学昇格を果した明治大学の商学部長として学部運営に直接的に関与する。

大学令では学問研究と人格養成が目的として掲げられ、知育および徳育が重視された。学問研究から

云えば、小林は学部長として最適の人物であったに違いない。一方、法学部長には鶴沢総明が就任する。小林、鶴沢共に衆議院議員経験者であった。

また、小林は政治経済学部でも初代学部長に就任し、設立祝賀会において「冷静に公平に社会の実相を材料として学理の研究を試み、独立自由の境地に立って学校の権威を社会に確立」する、と学部創立の理念を高らかに宣言した。

このように、小林は明治中期から昭和初期にかけて官僚、政治家、財政学者として多彩な活動を展開した。理論と実際を融合した小林の学風は商学部、政治経済学部の学風としても定着していく。創立百周年を迎える両学部では、将来に向けて小林丑三郎の学風をどのように受け継ぎ、発展させていく

小林の議員生活は僅か二年で終了し、一九一七年には海外駐劄官として中国に赴任する。帰国後、小林は大学令によって大学昇格を果した明治大学の商学部長として学部運営に直接的に関与する。

大学令では学問研究と人格養成が目的として掲げられ、知育および徳育が重視された。学問研究から

云えば、小林は学部長として最適の人物であったに違いない。一方、法学部長には鶴沢総明が就任する。小林、鶴沢共に衆議院議員経験者であった。

また、小林は政治経済学部でも初代学部長に就任し、設立祝賀会において「冷静に公平に社会の実相を材料として学理の研究を試み、独立自由の境地に立って学校の権威を社会に確立」する、と学部創立の理念を高らかに宣言した。

このように、小林は明治中期から昭和初期にかけて官僚、政治家、財政学者として多彩な活動を展開した。理論と実際を融合した小林の学風は商学部、政治経済学部の学風としても定着していく。創立百周年を迎える両学部では、将来に向けて小林丑三郎の学風をどのように受け継ぎ、発展させていく

部屋探し相談会 開催

第1回 2003年12月12日(金)~12月21日(日)

対象学部	紹介会場	紹介時間	連絡先
法学部・商学部 政治経済学部・文学部・ 経営学部・短期大学	和泉校舎 第一校舎1階 ラウンジ	10:00~ 16:00	榊学生情報センター吉祥寺店 0120-177-490
	駿河台校舎 リパティータワー1階 ラウンジマロニエ	10:00~ 18:00	榊学生情報センターお茶の水店 0120-749-003
理工学部・ 農学部	生田校舎 スクエア21 1階	10:00~ 16:00	榊学生情報センター町田店 0120-749-050

- 相談会は土曜・日曜も開催しています。
- 文系学部は2会場ありますが、和泉校舎の会場では和泉校舎に通学しやすい物件を、駿河台校舎の会場では駿河台校舎に通学しやすい物件を中心に紹介します。
- 会場では学生証を必ず提示してください。
- 第2回部屋探し相談会は2004年2月20日(金)~3月28日(日)に和泉校舎・生田校舎で行います。

明大ニュース

学長表彰

☆商学部2年生・土田武士君が人命救助により学長表彰☆

11月18日、山田学長より商学部2年生の土田武士君に表彰状が授与された。これは、去る10月2日、神田川で発生した水難事故での人命救助に尽力し、その勇気ある行動が本学学生の模範とすべきものであるとして表彰されたもの。



土田君は、救助の消防艇が到着するまでの間、橋の上から投げられた浮輪をとって渡す一方、励ましの言葉をかけながら無事レスキュー

に引き継いだ。神田消防署長からも「感謝状」を授与され、衆人環視の中、我が身の危険をも顧みず勇猛果敢に救助した功労誠に顕著」とされた。

土田君は、「上級救命講習を受講したこともあるので、状況に対処できた」と語ったが、その咄嗟の行動力は称賛に値するものである。

新学部等設置認可

☆新学部「情報コミュニケーション学部」等の設置が認可される☆
明大では2004年4月、新学部「情報コミュニケーション学部」と高度専門職業人養成型大学院の法科大学院、公共政策大学院「ガバナンス研究科」、ビジネススクール「グローバル・ビジネス研究科」を設置する。

これは、6月末に設置認可申請書を文部科学省に提出し、11月27日付けで大学設置・学校法人審議会の審議を経て文部科学省から認可されたものである。明大の学部開設は、1953年に設置された経営学部以来となる。

公認会計士第2次試験

☆明大からは在學生4名を含む45名が合格☆

10月7日、2003年の公認会計士第2次試験の合格者が、金融庁・公認会計士審査会から発表され、明大からは昨年より6名増の45名(うち在學生4名)が合格し

た。受験者数は14978人、合格者数は1262人で、過去最高であった。

金融庁は今年、公認会計士法を改正し、試験制度の簡素化などを行なった。今後、2千53千人の合格者数を目指し、質を維持しながら増やしていく方針である。

第2次試験合格者は、「会計士補」として3年間のインターンを経て、第3次試験に合格すると「公認会計士」の資格が得られる。

大学名	2003年	2002年
① 慶應義塾大	228	183
② 早稲田大	152	140
③ 京大	78	75
④ 中央大	76	94
⑤ 東大	71	54
⑥ 一橋大	49	37
⑦ 京同大	48	32
⑧ 神大	47	38
⑨ 明大	45	39
⑩ 大阪大	37	—

司法試験

☆明大からは昨年より7名増の33名が合格☆

法務省の司法試験管理委員会は11月12日、2003年度の司法試験第二次試験最終合格者1170人を発表した。明大からは、昨年より6名増の33名が合格した。

司法制度改革の一環として法曹人口の増加が図られているが、合格者数は、昨年度より13人減少し、史上2番目を記録。受験者数は45372人で過去最高を記録したが、合格率は2・58%で、90年以降の「狭き門」となった。

月開設の法科大学院修了者を対象とした新司法試験が始まり、現行の司法試験は2010年まで継続される。両試験の合格者総数は、2010年を目途に年間3000人に増える予定となっている。

大学名	2003年	2002年
① 東京大	201	246
② 早稲田大	174	185
③ 慶應義塾大	123	110
④ 京大	116	110
⑤ 中央大	104	104
⑥ 東大	43	45
⑦ 一橋大	37	15
⑧ 明大	33	26
⑨ 京同大	32	29
⑩ 大阪大	29	26

研究発表

☆理工学研究科・稲葉桂太君の研究論文が「国際会議でベストペーパー」に選ばれる☆

今年7月、アメリカ・フロリダで行われた国際会議 SCI 2003 (The 7th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics)で、理工学研究科・武野純一ゼミナールの稲葉桂太君(修士1年)が研究成果を発表し、その論文がSystemics(システム論)部門でベストペーパーに選ばれた。

論文は、「認知と行動の一致が意識を生み出す(邦訳)」で、その内容は「機械上に意識を発生させることが計算論的に可能であることを示した」ものである。

なお、本論文の内容にかかわる武野教授の論文「認知と行動の一致」という新しいパラダイム(人

間の持つ高度な意識を機械上に作り上げるための方法論)も同じくフロリダで開催された国際会議 CCT 2003の Methodologies(方法論)部門でベストペーパーに選ばれた。

スポーツ

☆プロ野球2003年ドラフト会議で野球部員4名が指名される☆
プロ野球の2003年新人選択(ドラフト)会議が、11月19日にプロの道への決意を語った。

都内で開かれ、12球団が自由獲得枠11選手を除く、60選手を指名、それぞれ入団交渉権を獲得した。明大からは、牛田成樹(商4、投手)と呉本成徳(政経4、内野手)が4、5巡目で横浜ベイスターズ、岡本篤志(文4、投手)が6巡目で西武ライオンズ、佐藤賢(政経4、投手)が6巡目でヤクルトスワローズから指名を受けた。記者会見に臨んだ4選手は、「開幕一軍」など各々の目標を掲げ、

図書館の開閉館について

図書館の年末年始、および後期試験期の開閉館は次のとおりです。詳細は各図書館の掲示をご覧ください。
◇年末年始の開・閉館◇
① 年末は、中央図書館は25日(木)まで平常どおり開館しております。和泉・生田図書館は24日(水)まで平常どおり開館、25日(木)は館内整理のため休館します。
② 年始は、中央図書館は1月7日(水)から開館します。ただし、開館時間は午前10時から午後5時です。マルチメディアエリア、館外貸出・返却、入庫検索のサービスを実施します。明大通り入り口から入館してください。
③ 全館とも1月8日(木)より平常どおり開館します。
④ 共通自習室は、12月26日(金)は害虫駆除作業のため、12時から開室します。12月30日(火)から1月3日(土)は閉室します。
◇冬季貸出◇
① 全館とも長期貸出中です。
② 返却期限日は、全館1月9日(金)です。
◇休日開館◇
① 中央図書館は1月18日(日)と25日(日)の休日開館日に一部サービスを拡大します。開館時間は午前10時から午後5時です。(内容は図書館の掲示をご覧ください)
② 和泉図書館は1月18日(日)と25日(日)に開館します。開館時間は午前10時から午後6時です。
③ 生田図書館は1月18日(日)と25日(日)の休日開館日に一部サービスを拡大します。開館時間は午前10時から午後5時です。(内容は図書館の掲示をご覧ください)

2004年度大学入試センター試験実施に伴う入講制限について

- 和泉校舎**
 - 入講制限校舎 第一校舎
 - 入講制限期間
2004年1月16日(金)午後6時から
1月19日(月)午前6時まで
- 生田校舎**
 - 入講制限校舎
中央校舎、第二校舎2号館
2001・2002・2003・2004教室
 - 入講制限期間
2004年1月16日(金)午後8時から
1月19日(月)午前6時まで
- 入講制限中の措置**
大学入試センター試験受験生、教職員及び入講を許可された者以外の入講を禁止する。